

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	リサイクルフェスタ開催事業	4-9
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	市民生活部リサイクルプラザ	直通電話	64 - 3196
担当部長	川又和雄	担当課長	相澤幸一
		担当者	福田輝美

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	家庭で眠っている品物をフリーマーケットで販売し、再利用することでごみの軽減化を図り、広く市民に対するリサイクル意識を高める。		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4.豊かな自然を守り育てる	
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現	
	施策項目(小)	資源環境型ごみ処理体制の確立	
	施策コード	40302	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	市民のリサイクル、ごみ減量の意識を高める。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市民に資源の再利用とリサイクルについて理解・協力してもらい、ごみの減量につながることを認識してもらおう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	リサイクルに対する意識啓蒙を図る。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	ごみの減量化や資源の再利用及び環境汚染の軽減化のため、同様事業を行っている自治体もある。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	0	0	0	0
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	863	829	897	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	863	829	897	
事務に従事した正職員延べ人数	0.10	0.10	0.10	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
市補助金等(A)										
計(B)	0	0	0	0	計	0	0	0	0	
(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)				
活動指標名	H17	H18	H19	H20
フリーマーケット出店件数(件)	目標値	42	42	42
	実績値	76	42	33
	達成率	181.0	100.0	78.6
	目標値			
	実績値			
	達成率			
	目標値			
	実績値			
	達成率			

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
リサイクルフェスタ参加人数(人)	目標値	500	600	800	550
	実績値	600	800	550	
	達成率	120.0	133.3	68.8	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	3	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	事業の成果と施策の成果とに 関連があるか
その事業に市が関与する必要があるかどうか			イ 成果
(2) 効率性			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容
コスト削減は可能か			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	総合評価の参考にしてください。
さらなる受益者負担は可能か			7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E
			15

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		市民の参加者数が大幅減少となったが、ごみの減量とリサイクルを認識してもらう大切な事業であり引き続き実施する必要がある。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		より多くの市民に参加してもらえるよう、事業内容を工夫、検討する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容	現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		*
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		参加者増に向けた事業内容の見直しを図る。	

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		会場を変更しての2年目、開催は第8回目を迎えるが、フリーマーケット出店数・入場者数も減少している。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		開催内容を工夫し参加者の増加を図り、減量化の啓蒙を行う。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容	現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		実施内容の一部見直しを図る。	